

令和7年度 入学者選拔要項

【医学科】 一般選拔

【医学科】 総合型選拔（北海道特別選拔）

【医学科】 学校推薦型選拔（道北・道東特別選拔）

【看護学科】 一般選拔

【看護学科】 学校推薦型選拔

【医学科】 私費外国人留学生選拔

【看護学科】 私費外国人留学生選拔

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

医師・看護職者としての適性とともに関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生

【旭川医科大学の求める学生像】

I 医師・看護職者としての適性

- 全ての生命の尊厳を重んじる学生
- 社会的規範・道徳に沿って、自らの行動を律することのできる学生
- 他者を尊重し、他者を思いやる心を持つ学生
- 多様な人々と良好な関係を築くことができる学生
- 幅広い教養を身につける努力をしている学生
- 最新の知識や技術を身につけるため、学び続ける学生
- チーム医療を実践するための素養を備えた学生

II 地域社会・国際社会への関心

- 自らの居住地域及びその住民に対して愛着を持つ学生
- 自らが所属する地域共同体のみならず、国際的視野を持ち、社会全体に貢献する志を有する学生

III 自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力

- 直面する問題に対し、広く世界を俯瞰し、自らが持つ知識・技能を論理的に応用することで、的確に課題を発見し、解決しようと行動できる学生

【入学者に求める資質等】

（関心・意欲・態度）

将来医師・看護職者として社会に貢献する高い志を持ち、他者に配慮し、自らを律して行動できる人

（知識・技能）

医学又は看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、課題発見能力・応用力を備えた人

（思考力・判断力・表現力）

課題を発見し解決するための基礎となる論理的な思考力・判断力を備え、高度なコミュニケーション能力の基礎となる教養と口頭・文章表現力を持つ人

（主体性・多様性・協働性）

高等学校等での総合学習や課外活動などを通じて周囲の人と良好な関係を築くことができる協調性を備え、多様な人々と協働するための自己分析能力や、主体的な活動の経験を有する人

高等学校等までの各教科において、以下の能力を身につけていることを望みます。

（国語）

良好な人間関係を形成するために、日本語の内容を正確に理解し、自らの考えを適切に表現するとともに他者の考えを正しく理解できること

（地理歴史・公民）

一般社会において主体的に生きるために、良識ある公民として行動できること

（数学）

基礎的知識の理解と習得に加え、身の回りの事象を数学的に考察できるとともに、数学的論拠に基づいて判断できること

（理科）

身の回りの事象を自らの知識に基づいて科学的に判断するために、広く自然科学全般について深く洞察できること

（英語）

将来国際レベルで学術情報の収集・発信を行うことができるよう、英語の内容を正確に理解し、身近な話題や興味関心のあるテーマについて自らの考えを適切に表現できること

（情報）

情報と情報技術を活用するための技能を習得するとともに、様々な事象に対する問題発見及び解決に向けて、情報技術を適切に活用できること

【入学者選抜の基本方針】

各選抜区分における選抜方法及び主要評価項目は以下のとおりです。

選抜区分	選抜方法	評価項目					
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	関心・意欲、態度	主体性・多様性・協働性		
医学科	一般選抜 (前期日程、後期日程)	大学入学共通テスト	○	○		「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を備えた者を重視して選抜する。	
		個別学力検査	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	総合型選抜 (北海道特別選抜)	大学入学共通テスト	○	○		学力等とともに、医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者を選抜する。	
		課題論文試験	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	学校推薦型選抜 (道北・道東特別選抜)	大学入学共通テスト	○	○		学力等とともに、北海道の上川中部を除く道北、道東並びに北空知及び中空知地域における医療に貢献する強い意欲がある者を選抜する。	
		課題論文試験	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	私費外国人留学生選抜	個別学力検査	○	○		出身学校が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績を総合的に評価する。	
		面接試験			○		○
	第2年次編入学	個別学力検査	○	○		大学等での学修及び社会経験により身につけた資質等を評価する。学力等とともに、北海道の地域医療を理解し、北海道の医療に貢献する強い意欲のある者を選抜する。	
面接試験				○	○		
看護学科	一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○		「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を備えた者を重視して選抜する。	
		小論文試験	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○		「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を備えた者を重視して選抜する。	
		面接試験及び調査書等			○		○
	学校推薦型選抜	面接試験及び調査書等	○	○	○	○	能力及び適性等を総合的に評価するとともに、看護学に関する学修意欲が特に強く、将来は看護の専門分野における実務・指導に携わることを決意している者を選抜する。
	私費外国人留学生選抜	個別学力検査	○	○		出身学校が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績を総合的に評価する。	
		面接試験			○		○

本学のアドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に基づいて定めております。本学の教育目標・教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、[本学WEBサイトを参照してください。](#)

目次

1	入学定員・入試区分・募集人員・入試日程	1
2	一般選抜（医学科）	2
3	総合型選抜（北海道特別選抜）（医学科）	4
4	学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）（医学科）	6
5	一般選抜（看護学科）	8
6	学校推薦型選抜（看護学科）	11
7	私費外国人留学生選抜（医学科）	12
8	私費外国人留学生選抜（看護学科）	13
9	参考	14

入学定員・入試区分・募集人員・入試日程

1. 入学定員・入試区分・募集人員

(名)

	定員	一般選抜		総合型選抜	学校推薦型選抜		私費外国人 留学生選抜
		前期日程	後期日程	北海道 特別選抜	道北・道東 特別選抜		
医学科	95	40	8	40	7	-	若干名
看護学科	60	40	10	-	-	10	若干名
合計	155	80	18	40	7	10	若干名

【注意事項】

- 一般選抜は、入学定員を分割し前期日程及び後期日程の両試験日程でそれぞれ入学者を募集する分離分割方式で実施します。
- 総合型選抜、学校推薦型選抜において合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
- 私費外国人留学生選抜の募集人員は前期日程に含まれます。

2. 入試日程

	入試区分	出願期間	試験日	合格発表日時
医 学 科	一般選抜（前期日程）	令和7年 1月27日(月) ～ 令和7年 2月 5日(水)	令和7年 2月25日(火) 26日(水)	令和7年 3月 6日(木) 17:00
	一般選抜（後期日程）	令和7年 1月27日(月) ～ 令和7年 2月 5日(水)	令和7年 3月12日(水)	令和7年 3月21日(金) 17:00
	私費外国人留学生選抜	令和7年 1月20日(月) ～ 令和7年 1月24日(金)	令和7年 2月25日(火)	令和7年 3月 6日(木) 17:00
	総合型選抜 （北海道特別選抜）	令和6年 9月27日(金) ～ 令和6年10月 3日(木)	令和6年10月26日(土)	令和7年 2月12日(水) 17:00
	学校推薦型選抜 （道北・道東特別選抜）	令和6年11月 1日(金) ～ 令和6年11月 6日(水)	令和6年11月23日(土)	令和7年 2月12日(水) 17:00
看 護 学 科	一般選抜（前期日程）	令和7年 1月27日(月) ～ 令和7年 2月 5日(水)	令和7年 2月25日(火)	令和7年 3月 6日(木) 17:00
	一般選抜（後期日程）	令和7年 1月27日(月) ～ 令和7年 2月 5日(水)	令和7年 3月12日(水)	令和7年 3月21日(金) 17:00
	私費外国人留学生選抜	令和7年 1月20日(月) ～ 令和7年 1月24日(金)	令和7年 2月25日(火)	令和7年 3月 6日(木) 17:00
	学校推薦型選抜	令和6年11月 1日(金) ～ 令和6年11月 6日(水)	令和6年11月23日(土)	令和6年12月19日(木) 10:00

一般選抜（医学科）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和7年度大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験したもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（ただし、第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（次のア～カの一に該当する者）

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

※ 出願資格(3)の力により出願する場合は、事前審査が必要となるので、出願期間の3ヶ月前までに本学入試課にお問合せください。

【令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目及び選択方法		科目数
国 語	『国語』	1
地理歴史・公民	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目 （旧教育課程履修者に対する措置） 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』『旧倫理、旧政治・経済』から1科目	1
数 学	『数学Ⅰ、数学A』 （旧教育課程履修者に対する措置） 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	2
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 （旧教育課程履修者に対する措置） 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』から1科目	
理 科	『物理』『化学』『生物』から2科目	2
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目	1
情 報	『情報Ⅰ』 （旧教育課程履修者に対する措置） 『旧情報』	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は6教科8科目です。本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等を受験することはできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、公民においては、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せの選択はできません。
- (3) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。
また、数学の科目のうち『旧簿記・会計』又は『旧情報関係基礎』を選択解答できる者は、旧教育課程履修者であり、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者に限ります。
- (4) 外国語の『英語』を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、『英語』を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディング（あるいは筆記試験）のみを利用します。
- (5) 旧教育課程履修者に対する経過措置として、新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。
- (6) 令和6年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程、後期日程）で実施し、令和7年度大学入学共通テストの成績、本学が実施する個別学力検査等の成績、自己評価書及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

なお、自己評価書は、言語モデル AI（ChatGPT など）の利用は認めませんので留意願います。

〔2段階選抜〕

入学志願者数が前期・後期日程募集人員のそれぞれ4倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施するため、令和7年度大学入学共通テストの成績により、前期・後期日程募集人員のそれぞれ4倍程度を合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

(1) 第1段階選抜を実施した場合の選抜結果は、第1段階選抜結果発表日に合格者の大学入学共通テストの試験場コード及び受験番号を、本学WEBサイトに掲載します。

また、合格者には本学の一般選抜受験票を送付し、不合格者には不合格となったことを通知します。

(2) 第1段階選抜を実施しない場合は、第1段階選抜結果発表日に実施しない旨を本学WEBサイトに掲載し、入学志願者全員に本学の一般選抜受験票を送付します。

※ 第1段階選抜結果発表日は募集要項でお知らせします。

●第1段階選抜時の大学入学共通テストの配点

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計点
200	100	200	200	200	100	1000

※ 合格者の最下位に同点者が複数いる場合は、同点者全員を合格とします。

〔前期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
数 学	出 題 範 囲	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C
英 語	出 題 範 囲	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
面 接	採点評価基準	自己評価書及び調査書等を参考にし、論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。

※ 数学A、数学B及び数学Cの出題範囲は、数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」とします。

※ 旧教育課程履修者に対しては、出題する問題の内容によって配慮します。

●大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト						個別学力検査等			合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	数学	英語	個人面接	
100	50	100	200	100	20	150	150	50	920

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の得点の高い順とします。

〔後期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
英 語	出 題 範 囲	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
面 接	採点評価基準	自己評価書及び調査書等を参考にし、論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。

※ 旧教育課程履修者に対しては、出題する問題の内容によって配慮します。

●大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト						個別学力検査等		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	英語	個人面接	
150	50	150	150	100	20	200	50	870

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の得点の高い順とします。

総合型選抜（北海道特別選抜）（医学科）

1. 趣旨

北海道には医師が不足している地域が多く存在し、本学卒業生が道内に残って活躍することが道民から強く求められています。そこで、北海道の地域医療に関心を持ち、医師としての適性ととともに、より本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿った北海道出身の学生に入学してもらいたいと願っています。

そのため、北海道の地域医療を理解し、将来北海道の医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することとし、意欲、能力、適性、将来性等の視点から総合型選抜（北海道特別選抜）を実施します。

2. 出願資格及び要件

北海道に所在する高等学校^{*1}又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者（令和7年3月までに卒業見込みの者を含む。）で、令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*2}の者で、高等学校等の学級担任教諭又は進路指導教諭等が本選抜の制度について説明し、意欲及び意思を確認できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書」を提出できる者

^{*1} 広域通信制高等学校を卒業又は卒業見込みの者については、高等学校の本部の所在地に関わらず、在学期間中、北海道に居住し、かつ北海道でスクーリングを受けていることを条件とする。

^{*2} 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目及び選択方法		科目数
国語	『国語』	1
地理歴史・公民	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』『旧倫理、旧政治・経済』から1科目	1
数学	『数学Ⅰ、数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	2
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』から1科目	
理科	『物理』『化学』『生物』から2科目	2
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目	1
情報	『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』	1

【注意事項】

(1) 受験を要する教科・科目数は6教科8科目です。本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等を受験することはできません。

(2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。

なお、公民においては、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せの選択はできません。

(3) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

また、数学の科目のうち『旧簿記・会計』又は『旧情報関係基礎』を選択解答できる者は、旧教育課程履修者であり、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者に限ります。

(4) 外国語の『英語』を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、『英語』を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディング（あるいは筆記試験）のみを利用します。

- (5) 旧教育課程履修者に対する経過措置として、新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。
- (6) 令和6年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、自己推薦書、調査書、課題論文及び個人面接によって受験者の能力、北海道における医療に貢献する強い意欲及び適性等と令和7年度大学入学共通テストの成績を総合的に審査し判定します。

なお、大学入学共通テストの合計点（1250点満点）が「当該選抜試験の受験者の中央値以上」であった者を選抜の対象とします。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

なお、自己推薦書は、言語モデル AI（ChatGPT など）の利用は認めませんので留意願います。

●本学の試験科目及び評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	課題発見能力、論理的思考力、判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる。
面接	自己推薦書及び調査書等を参考にし、論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。 特に、将来、医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者を選抜する。

●大学入学共通テスト及び本学試験科目の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト						本学試験科目		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	課題論文	個人面接	
200	100	300	300	300	50	200	200	1650

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、本学の試験科目の得点の高い順とします。

●併願等について

- (1) この総合型選抜に不合格となった場合に備えて、一般選抜に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部/学科の総合型選抜及び学校推薦型選抜との併願は認められません。ただし、学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）との併願は可能です。
- (3) 本学の学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）と併願している場合は、学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）での選抜を優先し、その後、総合型選抜（北海道特別選抜）の選抜を行います。

学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）（医学科）

1. 趣旨

本学は、道北・道東地域における高度先端医療の提供と医療過疎の解消を期待し、設置された医療系単科大学です。この趣旨を踏まえて、本学の教育の理念で「地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献する医療者を育てる。」ことを掲げ、地域医療に根ざした医療人を育成することを使命としています。北海道は札幌・旭川市周辺に医師が集中し、道北・道東地域では医療過疎が進む医師の偏在が社会的な問題となっています。この入試では、道北・道東等の出身者で、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することを目的としております。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者（令和7年3月までに卒業見込みの者を含む。）*1で、令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 生まれ育った地域*2が、北海道の上川中部を除く*3道北、道東*4並びに北空知及び中空知*5（以下「当該地域」という。）に該当し、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲がある者
- (2) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.3以上*6の者で、人物・学力ともに優秀かつ健康であり、学校長が責任を持って推薦できるもの
- (3) 高等学校等の学級担任教諭又は進路指導教諭等が本選抜の制度について説明し、意欲及び意思を確認できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書」を提出できる者

*1 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

*2 生まれ育った地域とは、志願者が小学校、中学校又は高等学校等のいずれかにおいて教育を受けた経験のある地域で、かつ、父母等（特別な事情がある場合は、祖父母等の保護者）が令和6年11月1日現在で継続して3年以上居住している地域をいう。

*3 上川中部とは、旭川市、東神楽町、東川町、美瑛町、鷹栖町、比布町、愛別町、当麻町及び上川町をいい、二次医療圏として上川中部全体では、人口10万人当たりの医師数が全道平均を上回っているため、除外する。

*4 道北、道東とは、宗谷、上川、オホーツク、釧路及び十勝の各総合振興局並びに留萌及び根室の各振興局をいう。

*5 中空知とは、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町及び雨竜町の各市町をいう。

*6 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二学期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目及び選択方法		科目数
国語	『国語』	1
地理歴史・公民	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』『旧倫理、旧政治・経済』から1科目	1
数学	『数学Ⅰ、数学A』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	2
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』から1科目	
理科	『物理』『化学』『生物』から2科目	2
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目	1
情報	『情報Ⅰ』 (旧教育課程履修者に対する措置) 『旧情報』	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は6教科8科目です。本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等を受験することはできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、公民においては、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せの選択はできません。
- (3) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

また、数学の科目のうち『旧簿記・会計』又は『旧情報関係基礎』を選択解答できる者は、旧教育課程履修者であり、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者に限ります。

- (4) 外国語の『英語』を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、『英語』を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディング（あるいは筆記試験）のみを利用します。
- (5) 旧教育課程履修者に対する経過措置として、新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。
- (6) 令和6年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

3. 推薦人員

本人の強い意欲に基づく学校長推薦とし、学校長が推薦できる人数に制限はありません。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、調査書、志望理由書、課題論文及び個人面接によって受験者の能力、当該地域における医療に貢献する強い意欲及び適性等と令和7年度大学入学共通テストの成績を総合的に審査し判定します。

なお、大学入学共通テストの合計点（950点満点）が「当該選抜試験の受験者の中央値以上」であった者を選抜の対象とします。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

なお、志望理由書は、言語モデル AI（ChatGPT など）の利用は認めませんので留意願います。

●本学の試験科目及び評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	課題発見能力、論理的思考力、判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる。
面接	調査書及び志望理由書を参考にし、論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。特に、将来、北海道の上川中部を除く道北、道東並びに北空知及び中空知地域における医療に貢献する強い意欲がある者を選抜する。

●大学入学共通テスト及び本学試験科目の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト						本学試験科目		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	課題論文	個人面接	
200	100	200	200	200	50	300	300	1550

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、本学の試験科目の得点の高い順とします。

●併願等について

- (1) この学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、一般選抜に出願することができます。
- (2) 国公立大学・学部への学校推薦型選抜の出願は、1つの大学・学部等に限られています。
- (3) 他の国公立大学・学部の総合型選抜との併願は認められません。ただし、本学の総合型選抜（北海道特別選抜）との併願は可能です。
- (4) 本学の総合型選抜（北海道特別選抜）と併願している場合は、学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）での選抜を優先し、その後、総合型選抜（北海道特別選抜）の選抜を行います。

一般選抜（看護学科）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和7年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験したもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（ただし、第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（次のア～カの一に該当する者）

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

※ 出願資格(3)の力により出願する場合は、事前審査が必要となるので、出願期間の3ヶ月前までに本学入試課にお問合せください。

【令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目及び選択方法		科目数
国語	『国語』	1
地理歴史・公民	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』 『地理総合、地理探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』から1科目 （※『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲から選択解答すること） （旧教育課程履修者に対する措置） 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』から1科目	1
数学	『数学Ⅰ、数学A』 （旧教育課程履修者に対する措置） 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	2
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 （旧教育課程履修者に対する措置） 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』から1科目	
理科	以下、①②いずれかとする ①『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から「地学基礎」を除く2つの出題範囲の選択解答（この場合、2科目を選択したもののみならず） ②『物理』『化学』『生物』から2科目	2
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目	1
情報	『情報Ⅰ』 （旧教育課程履修者に対する措置） 『旧情報』	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は6教科8科目です。本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等を受験することはできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。

また、『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合については、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれかの組合せ（「地理総合」及び「歴史総合」、「地理総合」及び「公共」、「歴史総合」及び「公共」）で選択解答してください。

なお、2出題科目を選択する場合においては、以下の組合せ以外の出題科目の組合せを選択してください。

- ・『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。
- ・『地理総合／歴史総合／公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合

せを選択することはできません。

- (3) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。
また、数学の科目のうち『旧簿記・会計』又は『旧情報関係基礎』を選択解答できる者は、旧教育課程履修者であり、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の受験は、第1解答科目または第2解答科目のどちらでも差し支えありません。
- (5) 外国語の『英語』を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディング（あるいは筆記試験）のみを利用します。
- (6) 旧教育課程履修者に対する経過措置として、新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。
- (7) 令和6年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程、後期日程）で実施し、令和7年度大学入学共通テストの成績、本学が実施する個別学力検査等の成績、自己評価書及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

なお、自己評価書は、言語モデル AI（ChatGPT など）の利用は認めませんので留意願います。

〔2段階選抜〕

入学志願者数が前期・後期日程募集人員のそれぞれ4倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施するため、令和7年度大学入学共通テストの成績により、前期・後期日程募集人員のそれぞれ4倍程度を合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

(1) 第1段階選抜を実施した場合の選抜結果は、第1段階選抜結果発表日に合格者の大学入学共通テストの試験場コード及び受験番号を、本学WEBサイトに掲載します。

また、合格者には本学の一般選抜受験票を送付し、不合格者には不合格となったことを通知します。

(2) 第1段階選抜を実施しない場合は、第1段階選抜結果発表日に実施しない旨を本学WEBサイトに掲載し、入学志願者全員に本学の一般選抜受験票を送付します。

※ 第1段階選抜結果発表日は募集要項でお知らせします。

●第1段階選抜時の大学入学共通テストの配点

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	合計点
200	100	200	200	200	100	1000

※ 合格者の最下位に同点者が複数いる場合は、同点者全員を合格とします。

〔前期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
小論文	採点評価基準	課題発見能力、論理的思考力、判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる。
面接	採点評価基準	自己評価書及び調査書等を参考にし、論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。

●大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト						個別学力検査等		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	
100	100	100	100	100	20	300	100	920

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の得点の高い順とします。

〔後期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等		出題範囲・採点評価基準
集団面接	採点評価基準	課題発見能力、論理的コミュニケーション能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。
個人面接	採点評価基準	自己評価書及び調査書等を参考にし、論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。

●大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト						個別学力検査等	合計点
国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	
100	100	100	100	100	20	300	820

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の得点の高い順とします。

学校推薦型選抜（看護学科）

1. 趣旨

本学では、他者を思いやる心を持ち、看護学に対する学修意欲が特に高い学生を教育し、将来は看護の専門分野における実務・指導に携わる看護職者に育成したいと考えています。

そのためこの選抜では、現在、高等学校等で学んでいる生徒の中から、学校長が上記の趣旨に沿っていると責任を持って推薦する者の中から選抜を行います。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者で、次の要件を満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*1}の者で、人物・学力ともに優秀でかつ健康であるもの
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていると学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 看護学に対する学修意欲が特に高く、将来は看護の専門分野における実務・指導に携わることを決意している者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

^{*1} 「評定平均値」は、第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）までのものとする。

3. 推薦人員

高等学校長又は中等教育学校長が推薦できる人数は、1校につき2名以内とします。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学校長の推薦書、調査書、志望理由書及び面接試験によって受験者の能力及び適性等を総合的に審査し判定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

なお、志望理由書は、言語モデルAI（ChatGPT など）の利用は認めませんので留意願います。

●本学の試験科目及び評価項目

試験科目	評価項目
集団面接	論理的コミュニケーション能力、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。
個人面接	学校長の推薦書、調査書及び志望理由書を参考にし、論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。 特に、看護学に関する学修意欲が特に強く、将来は看護の専門分野における実務・指導に携わることを決意している者を選抜する。

●配点

集団面接	個人面接	合計点
600	300	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

国公立大学・学部への学校推薦型選抜の出願は、1つの大学・学部等に限られています。

私費外国人留学生選抜（医学科）

1. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、次のすべてに該当し、かつ、出願要件を満たしている者

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
- (3) 次の①から④のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和7年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者
 - ③ 国際バカロレア、アビトゥーア、バカロレア、GCE Advanceレベルの資格を有する者
 - ④ 国際的な認証団体（WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia）の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者

【注意事項】

- (1) 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校（在外教育施設を含む。）を卒業した者又は卒業見込みの者、及び日本の永住許可を得ている者は、この入試に出願できませんので、一般選抜に出願してください。
- (2) 他の在留資格を有する者は、入学する場合、「留学」に在留資格に変更する必要があります。
- (3) ①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」を指します。

●出願要件

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2024年度日本留学試験（第1回又は第2回）」の、本学が指定する科目を受験（下表参照）し、日本語（聴解・聴読解、読解の合計）、日本語（記述）、理科（1科目ごとの成績）、数学のそれぞれの得点率が80%以上であること（「2024年度日本留学試験」が中止となった国・地域の志願者は、「2023年度日本留学試験」の成績を利用することができます）。

●2024年度日本留学試験の受験を要する科目等

日本語	
理 科	物理、化学、生物から2科目選択
数 学	コース2

※ 出題言語を選択できる科目は、「日本語」を選択すること。

2. 入学者選抜方法

- (1) 大学入学共通テストを免除し、次の方法によって入学者の選抜を行います。
- (2) 出身学校（日本の高等学校又は中等教育学校に相当する学校）が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2024年度日本留学試験」（中止の場合は「2023年度日本留学試験」）の成績並びに本学が行う学力検査（数学、外国語）及び面接（基礎学力の試問を含む。）の結果を総合的に審査し、選抜を行います。ただし、個別学力検査等の科目別成績が一般選抜受験者の平均点を下回っている場合は、合格候補者から除外されます。
また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
数 学	出題範囲	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C
英 語	出題範囲	英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
面 接	採点評価基準	態度、自分の考え、人間・社会・医療に関する関心・問題意識、自己評価能力等を問う。

※ 数学A、数学B及び数学Cの出題範囲は、数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」とします。

●配点

数学	英語	個人面接	合計点
150	150	50	350

私費外国人留学生選抜（看護学科）

1. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、次のすべてに該当し、かつ、出願要件を満たしている者

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
- (3) 次の①から④のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和7年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者
 - ③ 国際バカロレア、アビトゥーア、バカロレア、GCE Advanceレベルの資格を有する者
 - ④ 国際的な認証団体（WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia）の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者

【注意事項】

- (1) 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校（在外教育施設を含む。）を卒業した者又は卒業見込みの者、及び日本の永住許可を得ている者は、この入試に出願できませんので、一般選抜に出願してください。
- (2) 他の在留資格を有する者は、入学する場合、「留学」に在留資格に変更する必要があります。
- (3) ①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」を指します。

●出願要件

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2024年度日本留学試験（第1回又は第2回）」の、本学が指定する科目を受験（下表参照）し、日本語（聴解・聴読解、読解の合計）、日本語（記述）のそれぞれの得点率が80%以上、かつ、理科2科目と数学の得点が、それぞれの科目の平均点以上であること。

なお、「2024年度日本留学試験」が中止となった国・地域の志願者は、「2023年度日本留学試験」の成績を利用することができます。

●2024年度日本留学試験の受験を要する科目等

日本語	
理 科	物理、化学、生物から2科目選択
数 学	コース1又はコース2

※ 出題言語を選択できる科目は、「日本語」を選択すること。

2. 入学者選抜方法

- (1) 大学入学共通テストを免除し、次の方法によって入学者の選抜を行います。
- (2) 出身学校（日本の高等学校又は中等教育学校に相当する学校）が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2024年度日本留学試験」（中止の場合は「2023年度日本留学試験」）の成績並びに本学が行う学力検査（小論文）及び面接（基礎学力の試問を含む。）の結果を総合的に審査し、選抜を行います。
なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	採点評価基準	
小論文	採点評価基準	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる。
面接	採点評価基準	態度、自分の考え、人間・社会・医療に関する関心・問題意識、自己評価能力等を問う。

●配点

小論文	面接	合計点
300	100	400

参考

1. 受験に際し、特別な配慮を希望する方へ

疾病・負傷や身体障がいのために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、特別な配慮を希望する方は、出願期間開始日の2週間前までに、配慮申請書（様式指定）に、医師の診断書等を添付して本学入試課にご提出をお願いいたします（申請書類等は本学ホームページに掲載しています）。

https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/exam/faculty_special_consideration/

申請内容を確認のうえ、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討します。内容によっては、受験上の配慮が十分に提供できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、入学後の学習や学生生活などについては通年で相談に応じています。

※申請期限後、怪我等により急遽特別な配慮を要する事由が生じた場合は、直ちに本学入試課まで申し出てください。

特別な配慮の対象となる障がい等の程度

区分	障がい等の程度
視覚障がい	・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者又は視力以外の視機能障がいが高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者
聴覚障がい	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者
肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者
病弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
発達障がい	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
その他	・上記以外で特別な配慮を必要とする者

※日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や特別な配慮との関係から必ず事前に申請してください。

2. 個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報は「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「旭川医科大学個人情報管理規程」に基づき、次のとおり、個人情報の保護に万全を期しています。

また、入学試験にかかる出願書類等及び入学に必要な関係書類が、志願者から提出された時点で、以下の内容について志願者本人から同意を得たものとみなします。

- (1) 入学志願者から得られた出願書類等に記載されている個人情報については、本学の入学者選抜、入学後の学籍管理等諸業務、入学者選抜方法にかかる調査・研究及びこれらに関連する業務を行うために利用します。
- (2) (1)の個人情報のうち入学手続を完了した者の情報を、本学学生会及び同窓会等からの連絡に使用します。また、医学科総合型選抜及び学校推薦型選抜で提出された「卒後臨床研修確約・確認書」については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、各入試区分での合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に伝達されます。

3. 入試過去問題の活用

- (1) 本学は、アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）を実現するため、必要な範囲において、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp>

4. 一般選抜合格者の最高・最低・平均点

●令和6年度 入学者選抜

学 科	区 分	配 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	
医 学 科	前期日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	550	489.0 (88.9%)	382.5 (69.5%)	437.3 (79.5%)
		個 別 学 力 検 査 等	350	262.0	160.7	198.7
		合 計	900	708.0	611.8	635.9
	後期日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	600	550.6 (91.8%)	482.9 (80.5%)	515.6 (85.9%)
		個 別 学 力 検 査 等	250	211.7	132.0	165.2
		合 計	850	762.3	642.9	680.8
看 護 学 科	前期日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	500	366.5 (73.3%)	271.0 (54.2%)	311.0 (62.2%)
		個 別 学 力 検 査 等	400	362.3	263.5	302.1
		合 計	900	679.8	574.5	613.1
	後期日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	500	371.5 (74.3%)	265.0 (53.0%)	317.3 (63.5%)
		個 別 学 力 検 査 等	300	283.0	198.8	236.4
		合 計	800	654.5	519.6	553.6

※ ()内は得点率

※ 小数点以下第2位を四捨五入

5. 学生募集要項の発表時期及び請求方法

●学生募集要項の発表時期

入 試 区 分	発表時期 (予定)	備 考
学生募集要項 (特別選抜) ・総合型選抜北海道特別選抜 (医学科) ・学校推薦型選抜道北・道東特別選抜 (医学科) ・学校推薦型選抜 (看護学科)	8月中旬～ 9月上旬	
学生募集要項 (一般選抜)	10月下旬～11月上旬	
学生募集要項 (私費外国人留学生選抜)	10月下旬～11月上旬	募集要項は、本学WEBサイトに掲載します。 出願する場合は、募集要項の記載に従って、 出願書類を別途請求してください。

●請求方法は、本学WEBサイトの「受験生サイト」「資料請求」に掲載しています。

<https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/request/>



令和7年度旭川医科大学総合型選抜北海道特別選抜 地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）㊟

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は、志願者_____が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）㊟

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 初期臨床研修は旭川医科大学病院卒業後臨床研修プログラムを受けるものとします。
- (3) 医学・医療従事期間中に、国内外の医療施設（大学、研究所を含む）に出向・派遣、留学または大学院への進学等を希望する場合、学長の了承するものについては、所属長の責任の下、医学・医療従事期間に含めることができるものとします。
- (4) 医学・医療従事期間中は、毎年5月に勤務先について学長へ報告するものとします。

令和7年度旭川医科大学学校推薦型選抜道北・道東特別選抜地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

志願者 住所
氏名（自筆）
生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は、志願者 が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

保護者等 住所
氏名（自筆）

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 初期臨床研修は旭川医科大学病院卒業後臨床研修プログラムを受けるものとします。
- (3) 医学・医療従事期間中に、国内外の医療施設（大学、研究所を含む）に出向・派遣、留学または大学院への進学等を希望する場合、学長の了承するものについては、所属長の責任の下、医学・医療従事期間に含めることができるものとします。
- (4) 医学・医療従事期間中は、毎年5月に勤務先について学長へ報告するものとします。

お問合せ先

旭川医科大学事務局入試課入学試験係
〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
TEL : 0166-68-2214 (直通) (平日9:00~17:00)
<https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/>

